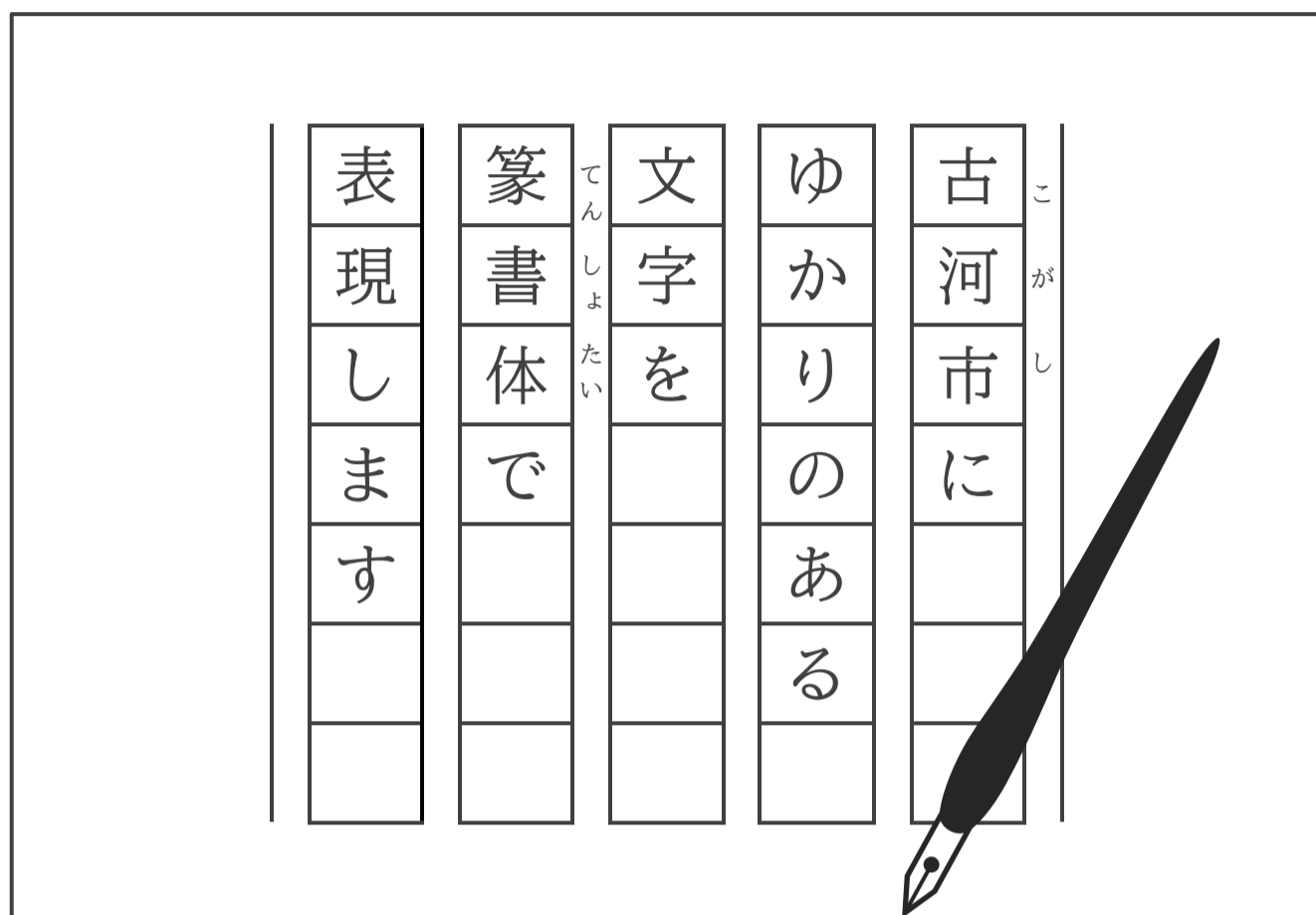


# 許我篆書展

「命をお惜しみ下さい、父上」このままでは余りに無念ですっ！」景季の言葉には答えず、  
 雪の上にどっかかり腰を下すと、ついて来た景季に、短くひとこと、  
 斬れ、と言った。  
 残りの郎従たちが最後の力をふりしぼって防戦している間に、身一つで小高い丘に退いた景時は、まだ踏み荒らされてない



— 第17回 題字 —

歴史小説家 永井 路子 先生代表作



令和6年

4月27日(土) → 6月23日(日)

「戒如海無涯、如宝求無厭……」偶然のことながら、そこには彼の名がそのまま入っている。  
 師の和上の導きのままに、われもまた担ってゆかねばならぬ。この『戒本』の序を唐音で誦すれば  
 その涯なき戒を……。碧眼の底に、かつて渡った海をよみがえらせながら、彼は思う。

## 許我篆書展 - コガテンショテン -

休館日 | 月曜日(祝日の場合はその翌日)、第4金曜日  
 開館時間 | 午前9時~午後5時(入館は午後4時30分まで)  
 入館料 | 一般 200円 / 小中高生 50円  
 〒306-0033 茨城県古河市中央町 2-4-18  
 TEL.0280-22-5611 / FAX.0280-22-5915



篆刻美術館ホームページ  
 二次元コード  
 展覧会情報等の最新情報は  
 こちらをご確認ください

### 篆書体とは?

漢字の古い書体の一つ。広義には秦代より古い時代の文字を総称して呼ぶ場合もあります。本展の作品は、篆書体より古い時代の金石文字や、甲骨文字なども使われます。

古代 >>> 現代 >>>>

由 瑟 → 古 河 → 古 河  
 金石文字                  篆書体                  楷書体